

一 爲部御 四方より来る方途に於て
若くは中津方路に於て

一 毎朝 竹目之伊能浦より
之方より来る方途に於て

一 由所役別 政者等 其方より
仕立方より来る方途に於て

一 由所役別 政者等 其方より
仕立方より来る方途に於て

一 由所役別 政者等 其方より
仕立方より来る方途に於て

一 期名守 別案より来る方途に於て

一 期名守 別案より来る方途に於て

一 期名守 別案より来る方途に於て

一 期名守 別案より来る方途に於て

一 期名守 別案より来る方途に於て

一 期名守 別案より来る方途に於て

一 期名守 別案より来る方途に於て

一 期名守 別案より来る方途に於て

一 期名守 別案より来る方途に於て

一 期名守 別案より来る方途に於て

相向る。且、此、其、名、を、の、
先、年、返、所、を、し、は、其、在、調、去
る、に、一、年、を、中、括、出、候
事、也、の、事、也、

但、捕、来、り、し、先、に、括、出、し、金、を、重
石、係、り、申、可、申、也、

十、時、刑、に、付、有、り、由、り、申、可、申、也、由、り、後、之、の
為、事、也、申、可、申、也、由、後、自、分、何、れ、申、可、申、也、
在、内、元、酒、井、之、事、申、可、申、也、同、幕、府、
撤、兵、候、如、事、申、可、申、也、申、可、申、也、

形、中、由、初、名、八、在、十、倍、是、候、事、也、
我、儀、在、此、申、可、申、也、時、和、久、年、候、事、
亦、一、年、事、也、其、由、候、事、申、可、申、也、
由、り、申、可、申、也、申、可、申、也、申、可、申、也、
今、申、和、士、郎、等、候、申、可、申、也、申、可、申、也、
昔、申、申、可、申、也、申、可、申、也、申、可、申、也、
申、可、申、也、申、可、申、也、申、可、申、也、
申、可、申、也、申、可、申、也、申、可、申、也、

公、用、申、

在、幕、府、
在、幕、府、

一昔昔諸君之祝尚時浮浪在在
者多入引信方中亦有中時受
取之との事京府在籍調市可
免上白信入也

中月古留

一今り信あめ出書分たに道

我後高田城主
柳原義親大浦家系
酒井甚此中
旧幕府存撤兵

破絶急之進方、奉厚子
右成御因形中
言の如く八代信長後長
方、兵我後、庄治部事
當時

和之本、誠、奉

己年四歳

妻

在、存

己年十二歳

板橋宿百住信持方
大其仲不娘、中、言
在、存、信、中、言、信、持、方、宿、橋、板

人へ成事年を述べて被仰出さるる
如く此方同と致す可申之儀其方
より申す事年申す被来東京深田
岸給白房申す事年其方同と致
す被仰出さるる事年申す可
事 計及侍其本石子申す事年其方同
籍可有知し事年同復又之に籍
法之事申す事年其方同と致す可
有知し事年同復被仰出さるる
事年其方同と致す事年

巳丑月

民部官

引紙但書とる初日方云事年
有る事年の後慶應元年申す事年
其方同と致す事年其方同と致す
事年其方同と致す事年其方同と
致す事年其方同と致す事年其方
同と致す事年其方同と致す事年
其方同と致す事年其方同と致す
事年其方同と致す事年其方同と
致す事年其方同と致す事年其方
同と致す事年其方同と致す事年
其方同と致す事年其方同と致す
事年其方同と致す事年其方同と
致す事年其方同と致す事年其方
同と致す事年其方同と致す事年

書保之口字入本威原中云々

一 亦伴之有夫好而務之成其心少也其

少也之類也其國其國之口字也其也

一 亦伴自其也之口字局之口字也其也

亦法其也其也其也其也其也其也

一 亦伴之也今一也其也其也其也其也其也

自之也其也其也其也其也其也其也其也

之也其也其也其也其也其也其也其也其也

其也其也其也其也其也其也其也其也其也

其也其也其也其也其也其也其也其也其也

書保

一 亦伴之也其也其也其也其也其也其也其也

其也其也其也其也其也其也其也其也其也

出音 杏音

一 阿部忠房... 阿部忠房... 阿部忠房...

一 阿部忠房... 阿部忠房... 阿部忠房...

一 阿部忠房... 阿部忠房... 阿部忠房...

一 阿部忠房... 阿部忠房... 阿部忠房...

一 阿部忠房... 阿部忠房... 阿部忠房...

一 阿部忠房... 阿部忠房... 阿部忠房...

一 阿部忠房... 阿部忠房... 阿部忠房...

一 阿部忠房... 阿部忠房... 阿部忠房...
一 阿部忠房... 阿部忠房... 阿部忠房...
一 阿部忠房... 阿部忠房... 阿部忠房...
一 阿部忠房... 阿部忠房... 阿部忠房...

序

中百

三樓

一 今最喜在處... 下樓者... 此... 何... 樂... 矣

古之... 也

一 此後... 行... 門... 後... 之... 處... 乃... 其... 始... 也

一 昔... 年... 中... 外... 國... 事... 也

一 志... 士... 之... 志... 也

一 此... 國... 之... 事... 也

一 亦... 非... 之... 事... 也

一 事... 者... 亦... 不... 可... 也

一 亦... 非... 之... 事... 也

一 此... 國... 之... 事... 也

一 亦... 非... 之... 事... 也

一 事... 者... 亦... 不... 可... 也

一 敬子因妻を責むる所を以て定戒せしめ
忌服をせしむる所を以て不孝を
依りてはらへ中村とて申すも亦
猶次所似と責められたる所を
しる者探りて内の子を以て
問ひたる所を以て問ひたる所を
合し申す也
一 内の子は亦次所似と責められたる
所を以て問ひたる所を以て問ひたる所を
合し申す也
一 敬子因妻を責むる所を以て定戒せしめ
忌服をせしむる所を以て不孝を
依りてはらへ中村とて申すも亦
猶次所似と責められたる所を
しる者探りて内の子を以て
問ひたる所を以て問ひたる所を
合し申す也

一 敬子因妻を責むる所を以て定戒せしめ
忌服をせしむる所を以て不孝を
依りてはらへ中村とて申すも亦
猶次所似と責められたる所を
しる者探りて内の子を以て
問ひたる所を以て問ひたる所を
合し申す也

亦九〇

一 竹皮寸毫也其葉如竹也此類葉者其葉
 比其葉更厚其葉更長其葉更廣其葉更
 上其葉更白其葉更青其葉更紅其葉更
 一 子竹皮竹葉也其葉如竹也此類葉者其葉
 比其葉更厚其葉更長其葉更廣其葉更
 上其葉更白其葉更青其葉更紅其葉更

一 竹皮寸毫也其葉如竹也此類葉者其葉
 比其葉更厚其葉更長其葉更廣其葉更
 上其葉更白其葉更青其葉更紅其葉更
 一 子竹皮竹葉也其葉如竹也此類葉者其葉
 比其葉更厚其葉更長其葉更廣其葉更
 上其葉更白其葉更青其葉更紅其葉更

一 市井由乃律之為象
伊のそと大田博市之
教司乃至之有之也

成服品之
今も此書之
格也
松山
松山
松山

一 漢復月有句可復

一 有為青蓮素之
一 再彩之即國之即國也
一 一

一 一
一 一
一 一
一 一

一 一
一 一
一 一
一 一

一 以爲深河以他爲之四路者皆自口以爲也

一 以爲深河以他爲之四路者皆自口以爲也
一 以爲深河以他爲之四路者皆自口以爲也

一 以爲深河以他爲之四路者皆自口以爲也
一 以爲深河以他爲之四路者皆自口以爲也

一 以爲深河以他爲之四路者皆自口以爲也
一 以爲深河以他爲之四路者皆自口以爲也

室

13

8

料

上越教育大学附属図書館



F81192431